

Aikou

2021年10月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘1-16-8

Tel 241-3860

「うんどうかい」

園長 土肥 聡

今年の夏には日本でオリンピックが開かれました。私たちはテレビを通して世界の頂点を極める選手たちの活躍を知らされました。選手たちがメダルを目指して力の限りを尽くしている姿と共に勝負の厳しさを目の当たりにしました。

幼稚園の運動会は競争に勝つことが第一ではありません。子どもたちにも得意も苦手もあるかもしれません。私も幼いとき、リズムがうまくできなくて、運動会の練習が嫌だった思い出があります。運動会の喜びは勝ち負けではなく、秋のさわやかな季節の中で思いっきり体を動かすことだと思います。私たちの体も健康も、自分の努力で得られるのではなく、神さまからの贈り物です。一人ひとり違った個性を持った子どもたちが秋空のもとで、神さまの恵みを感じながら楽しいひとときを持ちたいと願っています。

「楽器遊び」

アドバイザー 横江 栄子

愛香南部幼稚園では楽器を使って演奏することを「楽器遊び」と呼んでいます。二学期は遊びもいろいろ豊富に発展するときです。子どもたちにとっての楽器は「演奏する」というより、いろいろな楽器に触れて音色や感触を楽しむことから始めます。曲選びも、いつもの保育の中のリズム遊びなどで子どもたちが親しんでいる曲の中から選ぶようにしています。最初は楽器の名前を覚えたり、すきなところで音を出してみても使い方で音の響きの違うことなど、自由に試しています。この経験が大切だと思います。

自由に楽器に触れる時間を充分経験した後に、曲に合わせて演奏する楽しさを味わっていきます。今も思い出す一場面があります。ある年の年長組がクリスマス会に「楽器演奏」をするための準備していた時です。「シンバル」を手にした子どもが「好きなところでシンバルの音を入れてね」と保育者が声をかけたら、曲の中で一回だけ大きな音を入れました。「もっと入れてもいいよ」と伝えても、身体でリズムをとりながらその一回だけの音にこだわっていました。彼にとってはこの一回の音にすべてをかけて大満足でした。これも「楽器遊び」の大切な一場面です。

すみれ組

2学期より男児1名の新しいお友達を迎えて5名、そして10月には男児2名が加わる予定で7名と急に賑やかになったクラスに拍手です！新入さんのS君がしばらく慣れ保育で登園時から泣いていたのですが、周りにいた子どもが驚いた声で「せんせい、Sちゃんきょうはぜんぜん泣いてないよ！」と、心にかけて優しい思いにとっても嬉しくなりました。さて初めて迎える運動会ですが、今はかけっこが大好きになって、スタートでお名前を呼ぶと元気な「は〜い！」の返事がとても上手になってきました。当日はいつもと違う環境の中で不安になることのできるだけ無理をせずに、お家の方と一緒に楽しんでいただけたらと思います。(土肥ミチ子)



くらすけっち

たんぽぽ組

”友だちと一緒に遊ぶ”ということが楽しくなってきた子どもたち。おままごとはもちろん、病院ごっこなどで盛り上がることも多くなってきました。患者さんやお医者さんなど役割もあり、耳を澄ませて聞いていると「はい、寝てください」「手術しますよ」などおもしろい会話が聞こえてきます。「先生もまぜて〜」と入ろうとすると『先生は入っちゃダメ!!』と大きな声で言われてしまいます。遊びに入るタイミングも難しいな〜と思っていると、『先生を今から手術します。寝てください。』と声がかかりました。どうなるかと思ひながら手術をお願いしたのですが、子どもたちは楽しそうに手術をしていました。これからも友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じながら過ごせるよう工夫してきたいと思います。(氣谷彩子)



ばら組

パイレーツオブカリビ안의オルゴールCDがとても気に入って、CD番号も覚えてしまうほど繰り返し聞きました。海賊にも興味が出てきて「ばらぐみかいぞくだん」を結成！クラスみんなが乗ることができる船を目指して、アイデアを出し合いました。かいぞくのアイテム（望遠鏡・アイパッチなど）も手作りで揃えました。敵が来るといろいろな効果のあるばくだんをドーン！子どもたちのお気に入りには当たると臭くなる「くさくさばくだん」です。

船づくりもかいぞくごっこも日に日にバージョンアップ！みんなで船に乗り込んで鬼が島やたから島に出かけています。かいぞくごっこ一色のばら組です。10月の運動会では勇気いっぱいのかいぞくたちに会えるかも…♡子どもたちと楽しみながら準備を進めていきたいと思います。

(北村愛実)



ゆり組

2学期に入り自分の思いを伝えることと相手の思いを受け入れることの難しさから遊びが思うように進まず、何か遊びが始まっても長続きしない日が続いていました。そこで、お部屋の遊具も入れ替えて久しぶりにラキューやレゴブロックを出すと、思い思いの物を作り始め友だちと教え合いながら集中して取り組む姿が見られました。レゴブロックでは、友だちと一緒に家をつなげてごっこ遊びも始まりました。友だちとのやり取りも少しずつ楽しめるようになってきたようです。友だちと一緒にする楽しさをたくさん感じながら、運動会も取り組んでいきたいと思っています。今からリレーはとても楽しみにしています。勝ち負けだけでなく、力を合わせて成し遂げる喜びを味わっていききたいです。(富樫立子)

